

猪苗代高等学校 進路だより

令和3年1月28日(木)発行

3年生は今日で最後の学年末考査が終わりました。これからは、新生活に向けての準備や勉強に力を入れてください。1・2年生は2月に学年末考査があります。特に2年生はこれで2年次の評定が確定しますので、進路に関わるとも重要な試験になります。しっかりと準備をして、試験に臨みましょう。2年生は「3年生の0学期」が、1年生は「2年生の0学期」が始まっていますよ。「やらなきゃ」と思うだけでなく、早めに行動に表しましょう。

◆2月の予定

- 2/8～12 1・2年生学年末考査
- 2/20 学習発表会
- 2/28 卒業式予行・表彰式・賞状伝達式・同窓会入会式

◆3年進路体験発表会

1/28(木)5校時に1・2年生対象に進路体験発表会を行います。当日は、進学、就職の進路希望別に分かれ、それぞれの教室で5名の3年生が進路を決定するまでの体験談を話してくれます。3年生が進路に向けて動き出した頃の話や受験の準備、苦労したこと、後輩へのアドバイス等、これから進路を選択するうえでとても参考になる話をしてくれます。しっかりメモを取り、積極的に質問をするなど、自分事として聞きましょう。また、話を聞いて終わりではなく、すぐに行動に移すことも大切です。みなさんのこれからの行動に期待します。

◆「社会人としての心構え講座」質問回答～PART2～

◎自分に合った仕事を見つけるのはとても難しいのではないかな。

小:お見込みのおりとても難しいです。だからこそ真剣に考える必要があります。進学してもいずれ就職することになり変わらないため、仕事・働くということについて考えるのは少しでも早い方が自分のためになります。

藤:難しいです。やりたいと思った仕事を見つけることが大切です。

◎就職先を決めるうえで一番重視したことは何か。

小:自分に合っそうかどうかで決めました。私は運動は嫌いではありませんでしたが体を動かす仕事(製造業・小売業)などよりも座ってやる仕事の方が個人的に向いているのではないかと考えました。そこで事務職を探しましたが、高卒で働くことのできる事務職は数が少ないうえ県外の企業などになってしまうので、事務職で県内に住むことのできる公務員(福島県職員)という職業に決めました。

藤:休日日数や仕事内容を重視しました。

◎小檜山さんが言っていた「集団討論」という試験は特に何をするのか。どのように行うのか。

小:1つのテーマに対して6～10人くらいで議論します。出題されるテーマの例はネット検索をするとすぐに出てくると思うので調べてみてください。流れとしては司会を決めて一人一人が意見を言えるように調整し、最後に班としてテーマに対する結論を出します。練習をした公務員専門学校でも皆がやりたがらない司会をやった方がポイントが高いと言われており、私も本番で手を挙げる気でいましたが本番の空気に戸惑い、突然手が鉛のように重くなりました。生まれ変わったら強くなりたいです。

◎試験の勉強方法はどのようにしていたのか。

小:平均2～3時間、試験前は多い時で6時間くらい筆記対策を問題集とは違ったノートに繰り返し解いて勉強しました。私が勉強して思ったことは時間よりも質を意識した方がより短い時間で効率的にできると思います。時間は有限なのでうまい使い方を学生のうちに身に付けておくと社会に出て役立ちます。二次試験対策は時間と人がそろえば常にやるくらいの気持ちでいましたが、それでもあまりできなかったのが反省点です。

藤:進路室から一般常識の本を借りたり、自分で買って勉強をしていました。

◎試験前の6時間勉強ではやる気が出ないとき、どのようにモチベーションをあげて頑張っていたか。

小:目をつぶり、将来スーツを着て公務員として働いている自分を想像してモチベーションをあげていました。たまにモチベーションをあげるつもりが、疲れて目をつぶってそのまま寝落ちしている時もありました。(勉強再開7割、寝落ち3割)